

## 第1章

## 時制

文を作る上でまず考えるべきことは、**時制を決める**ことである。英訳する際、時制についてしっかりと考えていないと、日本人は往々にして現在形を用いてしまう。ところが、現在形はすべての時制の中の中立的な存在ではなく、**現在形にもそれなりの意味がある**ということを忘れてはならない。

では、現在形は文字通り「現在のことを意味する」のであろうか。もちろん、そういう場合もあるが、「**現在形が現在を表す用法は頻度的には低い**」のである。そうなると、現在形で頻度の高い用法とは何であろうか。

一方、過去形は「過去のことを表す」と思いだろうか。言うまでもなく、過去を表す場合もあるが、厳密には「**過去形は必ずしも過去を表すわけではない**」ということを認識していただきたい。英文法を勉強したことがある人なら、〈**仮定法過去**〉という用語をご存知だろう。仮定法過去は過去のことを表すわけではなかったはずである。では、なぜ「過去」などという用語がついているのだろうか。

このように考えてみると、〈**現在形**〉や〈**過去形**〉という文法用語自体が問題である。〈**現在形**〉などと命名してしまったら、「現在のことを表す」と思われてしまっても仕方あるまい。〈**仮定法過去**〉と言っておきながら、「過去のことではない」とはこれ如何！ 文法用語のせいで本質が見えなくなっている。

ましてや、〈**現在完了**〉や〈**過去完了**〉という時制を正しく理解しているだろうか。いわゆる〈**現在完了**〉と〈**現在完了進行形**〉の区別はできるであろうか。未来時制と言えば、**will**だけだと思っていないだろうか。**will**と**be going to**は使い分けることができるだろうか。

聞かれてみれば中学英語の範囲であるはずなのに、あやふやなことが多いのではないか。そこで、この章では、まず時制について、1つ1つじっくりと検証してみることにしよう。

## ● 文法運用力チェック ●

- 1. 「現在形」は「現在のこと」を表すと思っていないだろうか？ ☞ §1
- 2. 「～している」という日本語を見て進行形と判断してはいないか？  
☞ §2
- 3. 状態動詞も進行形が作れる場合があることを知っているか？ ☞ §3
- 4. 現在完了の4つの意味（継続・経験・完了・結果）を使い分けられるか？ ☞ §6
- 5. 「～した」という日本語を何でも過去形にしてはいないか？ ☞ §7
- 6. 現在完了と現在完了進行形を使い分けられるか？ ☞ §8
- 7. 「最近」に相当する **these days** と **recently** を使い分けられるか？  
☞ §10
- 8. 大過去と過去完了の違いがわかっているか？ ☞ §11, 12, 13
- 9. 過去形はすべて過去を表すと思っていないか？ ☞ §14, 15, 16, 17
- 10. 未来 = **will** と思っていないか？ ☞ §21～30
- 11. **will = be going to** と思っていないか？ ☞ §23, 24, 26
- 12. **will** の訳を「～だろう」と思っていないか？ ☞ §24, 25